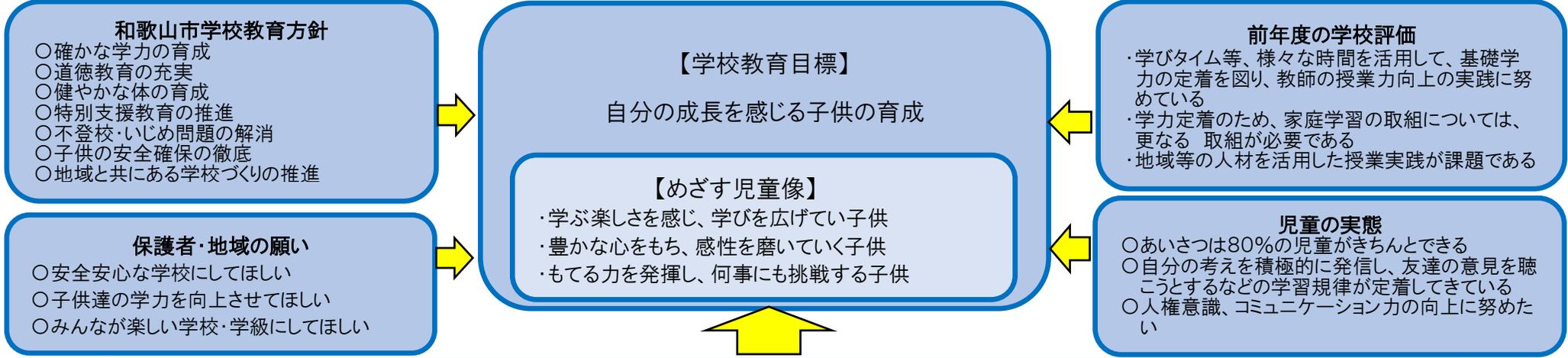


2019年度 和歌山市立藤戸台小学校 スクールプラン（学校運営計画書）

校長名 堀本 純平 作成日 2019年5月10日



重点目標	<b>確かな学力の向上</b>	<b>豊かな心の育成</b>	<b>健やかな体の育成</b>	<b>地域とともにある学校</b>
	<b>具体的な取組</b>	<b>指標</b>		

**確かな学力の向上**

- ◎探究的・問題解決的学習
- ◎基礎基本の確かな学力の定着
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

**豊かな心の育成**

- ◎道徳教育・人権教育の充実と他教科との連携による人権意識の向上
- ◎いじめの未然防止、早期発見・解決
- ◎豊かな読書活動の推進
- ◎一人一人を大切にする学級づくり・仲間づくり

**健やかな体の育成**

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

**地域とともにある学校**

- ◎保護者・地域との連携充実
- ◎地域教材・地域の人材の更なる活用
- ◎保幼小の接続、小中の連携

**具体的な取組**

- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 学びの時間や放課後のフォローアップの時間を設け、基礎学力の定着を図る
- 指導と評価の一体化に取り組み児童の成就感・達成感の醸成を図る
- 家庭学習の手引きを配布し「希望のしるしノート」を活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る

**指標**

- ・全国学調、県学習到達度調査で正答数が全国や県平均を上回る
- ・学校評価において家庭学習に係る取組を評価すると回答する保護者の割合を8割以上にする
- ・わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う(児童・教師 90%以上)

**具体的な取組**

- 教科書を中心に、地域教材等も活用し、多面的に考えたり議論したりする等道徳科の授業を充実させる
- いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、子供と保護者がともに研修の機会をもつ
- 話し合い活動・体験活動を通して友達と学び合うことの楽しさを実感させる
- 生き物との触れ合い、野菜や草花の栽培活動ができる場をつくる
- 心を耕す読書活動を質的に充実させる(朝読タイム・うちどく・読み聞かせ)。図書委員会や各家庭と連携・協力しながら、子供達の読書に対する興味・関心を高める取り組みを準備していく

**指標**

- ・学校が楽しいと感じる(児童90%)
- ・いじめの解消率100%

**具体的な取組**

- スポーツテストから児童の課題を把握し、体育授業の充実(運動量の確保・運動の楽しさ、喜び)に努め、体力の向上を図る
- 「早寝・朝起き・朝ごはん・挨拶」を推奨し、生活習慣の確立に努める
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 学校保健の推進と食育指導の充実を図る

**指標**

- ・早寝・朝起き・朝ごはんの実行(90%)
- ・積極的な運動の計画・実践(90%)

**具体的な取組**

- 地域の方々との交流で人との関わりの楽しさを体感させるとともに、地域の伝統や地域の方々の知恵を知り、地域を誇る児童を育てる
- 子供達の学習や行事の様子をホームページや学校便り、校門の掲示板を活用しながら、随時最新の情報を紹介するように努める
- 地域にある和歌山大学との交流・連携を進め、和歌山大学の先生による研究授業の助言や学生への授業公開を積極的に行うように努める

**指標**

- ・学校の様子が伝わった(80%)
- ・グロスター、読み聞かせボランティア等の人材活用(教師80%)